

答えはすべて解答らんに入れなさい。

一 次のⅠ・Ⅱの文章を読んで、後の問いに答えなさい。

Ⅰ 1992年、ブラジルのリオデジャネイロに世界172カ国が集まり、さらにそのうちの100カ国以上からは国家元首が自ら代表として参加し、持続可能な社会を目指し最大限の努力をすることをお互いに約束しました（環境と開発に関する国際連合会議）。あれから18年の時が流れ……多くの国々が大変な努力をしているものの、現実には理想とは大きく乖離[＊]し、地球環境の劣化は残念ながら加速しているのです。なぜ努力が報われないのか。私たちはもう一度原点に戻り考えなければならぬときを迎えているのです。

そもそも地球環境問題とは何なのでしょう？ それは地球温暖化のことでしょうか。私たちはそうとは考えていません。確かに地球温暖化は重要な問題です。ただ、それ以外にも、資源やエネルギーの枯渇、生物多様性の急激な劣化、食料や水の分配の問題、急激な増加を続ける人口などの問題があります。これらを私たちはリスクと呼んでいます。そして、不思議なことにこれらのリスクの多くが、このままでは2030年頃最大になり、どのリスクがもっとも危険かは、最先端科学を総動員してもわからないのです。少なくとも、このままでは、2030年頃には危機的な状況を招く可能性も極めて高いのです。そして、地球環境問題とは、本来リスクとはならなかったこれらをリスクにしてしまった物質消費を中心とする人間活動の制限のない拡大に他ならないのです。

このような形で人間活動の拡大をいかに停止・縮小できるのか、それが今まさに問われているのです。さらに重要なことは、停止・縮小だけを声高に叫ぶなら、知恵も企業の実存価値もあります。あらゆるものを配給にすればよいのですから……。行き着くところまで行けば、そうなるかもしれません。でもそれでは、あまりにも芸がないばかりではなく、今まで築き上げてきた知恵やそれを生み出す教育などの蓄積がすべて雲散霧消してしまいます。今私たちに求められているのは、心豊かに生きるといふ人の生の本質を担保しながら、人間活動の拡大を低環境負担型に変えてゆかなければならないということです。（中略）

では、欲を捨てるのではなく、欲を認めながら循環型社会の創出をも認めることは可能なのでしょうか。そのためには、人の欲のかたちを理解する必要があります。私たちは、「生活価値の不可逆性」という欲の構造を持っています。人は、一度得た快適性や利便性を容易に放棄できないという、欲のかたちです。（中略）

無論、この生活価値の不可逆性が「悪」だということではありません。一度良い音楽を聴くともっと良い音楽が聴きたくなる、一度素晴らしい絵を観るともっと素晴らしいものが観たくなる……そうやって、文化は発達してきたのです。ただ 1 だけを煽る生活価値の不可逆性は地球環境を劣化させる元凶なので、これだけは避けなければなりません。 2 だけを煽る欲のかたちでは、人と地球を考え、た新しい暮らしのかたちを創ることができません。欲は認めるものの、それを 3 をも煽るかたちにしなければ、循環型社会を肯定できなくなるのです。

4 をも煽る暮らし方とは一体どのようなものなのでしょう。そのようなことができるのでしょうか？ 実は日本人にはそれを創り上げる能力があるのです。いや、それを創り上げてきた素晴らしい実績があるのです。

地球環境問題の多くがテクノロジーの発達に負っているのですから、ここでは、そのテクノロジー発達の歴史を素材に考えてみましょう。現在の地下資源型テクノロジーは、イギリスで18世紀後半からはじまった産業革命を契機としたものであることは疑う余地がありません。そしてイギリスでの産業革命は大量生産・大量消費を生み出したのです。産業革命の定義はいろいろとありますが、そのもっとも大きな1つは、「テクノロジーが庶民のものになった」ことだと思えます。それまで、テクノロジーは、戦争のため、王様や貴族階級の人たちのためだけに開発されてきました。では日本で、テクノロジーが庶民のものになったのはいつ頃だったのでしょうか。実は、イギリスの産業革命の100〜150年も早く江戸を中心に興っていたのだそう

です。多くのテクノロジーがカタログ販売され、誰でもそれを買い求めることができたそうです。しかし、日本ではそれら最先端テクノロジーが大量生産・大量消費に繋がっていませんでした。イギリスでの産業革命との差は一体どこにあったのでしょうか？

例えば江戸時代の高度なカラクリの1つである「弓曳き童子」は、鯨の髭でつくられたゼンマイを使い、4本の矢を1本ずつ弓につがえて射て行きます。的を外すと、実になしそうな申し訳なさそうな顔をします。これほど高度なカラクリ技術はどこで使用されていたのでしょうか。実は見世物小屋だったのです。見世物小屋で弓曳き童子が矢を射ます。的を外すと、次は当たれと手に汗握って多くの観衆が楽しんだのです。（中略）（また）世界最高のDNA操作技術である鯉や金魚の品種改良技術を使って大量の食料をつくることもしました。さらに、10枚以上の版を重ねる浮世絵の版を重ねる精度は、10分の1ミリメートル以下であり、1970年代の集積回路のマスクの重ね合わせ精度は、それを10倍程に高めた程度だったようです。その浮世絵を今という大衆週刊誌程度の値段で庶民化していた事実にも驚かされます。

このように、イギリスでは、テクノロジーの庶民化が大量生産・大量消費を生み出したのに対し、日本では、大量生産に向かわず、エンターテインメントを煽る、まさに精神欲を煽る方向に進んでいたようなのです。まさに、私たちが今進まなければならないことをすでに鎖国が続いた江戸時代には経験していたのです。

一方では消費へ、一方ではエンターテインメントへ向かうことになったこの差はどこにあったのでしょうか。それは、自然観にあるようです。イギリスでの産業革命成功の原理は、自然との決別、すなわち人間が自然を奴隷のように扱うことができるという原理に基づいていることを、哲学者のデカルトやベーコンが明らかにしています。一方、日本では自然との決別などできません。地面は揺れ、雨が降れば龍神の住む川は暴れ、緑はあまりに強く人を襲ってきます。（中略）日本での産業革命は、まさに精神欲をも煽るテクノロジーが創り上げた文化なのです。

無論、生活価値の不可逆性がある以上、江戸の暮らしにもどることはできませんが、江戸の暮らしから私たちが進むべき多くのヒントを学ぶことができます。少なくとも、今そこにある快適性や利便性を追い求めるフォアキヤステイング（前しか見ないこと）では、発散を続け、地球環境の劣化を抑えることができないことは明らかです。

Ⅱ 全国をくまなく歩く旅が流行しています。伊勢参りや四国八十八箇所巡りもブームです。すぐろくのように、スタートからゴールまでをゆつくり時間をかけて歩くことを楽しみとする人が増えました。人々は、歩くことで、その道のりが大変であればあるほど、大きな達成感を得られると考えるようになっていきます。街道には、かつての宿場町が再生され、旅の疲れを癒しています。道では、電気自動車に乗った地元の人が往来し、小さな電気トラックが通る以外は歩く人が大半です。宿では、地酒や地魚、伝統野菜などが振舞われています。電柱と鉄塔を地下に埋めることで、街道の風景も空が広く、美しいものになりました。これらの公共事業によって地域の雇用が促進され、街道は活気を帯びています。「おじいちゃんおばあちゃんによる観光ガイド」も人気です。

（石田秀輝・古川柳蔵『キミが大人になる頃に。』）

注 ※1乖離 二つのものが離れて結びつかないこと

※2集積回路のマスク 電子回路を作るものとなるもの。原版。

問1 1〜4には、（ア、精神欲、イ、物欲）のどちらかが入る。あてはまるものを記号で答えなさい。

問2 （1）——について、筆者のいう「日本での産業革命」とは、どのようなものですか。説明しなさい。

（2）なぜ（1）のような産業革命になったのか、説明しなさい。

問3 Ⅱの文章は、二〇三〇年の新しい暮らしのかたちを筆者が思い描いたものです。ここではⅠの文章の内容がどのように生かされていると言えますか、具体的に説明しなさい。

二 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

これからお聞きいただくのは
広島のと、三人の少年の話です。

三人はともに国民学校の六年生、
そのときまだまだ、疎開先から帰っていました。

広島は、ごぞんじのように水の都です。
七つの川にやさしく抱かれています。
水のおかげでおいしいお魚がとれます。
ここは四十三万人の大きな都会です。

広島は学問の都です。
とくに文理科大学には、インドネシアやマレーシアや
フィリピンからも、たくさん留学生がきています。

またここは陸軍の都です。
鉄砲がついた兵隊さんたちは、
みんなここから中国へ南方へと出かけて行きました。

ちかごろは軍の司令部が
ぞくぞくと集まってきています。

第二総軍司令部、
中国軍管区司令部
広島連隊司令部、
船舶司令部、
船舶司令部、
兵隊さんや将校さんが
八万人もいます。

そしてここは造船所の街です。
りっぱな軍艦をつくり出す、
ここでつくりえない船はありません。

造船所には三万の朝鮮人がいる。
ふるさとかから引き剥がされて、
いちにち六個のおにぎり
わずかなお給金で船をつくらっている。

広島には空襲がありません。
「この広島からは、アメリカへ、えっと移民さんが
行つとつてじや。ほいでみな、日系市民とかいうアメ
リカ人になつちよる。そいじゃけん、そのアメリカ人
が生まれ故郷に爆弾を落とすわけがなあが」
みんなそういっています。

ちようどそのころ、アメリカの大統領がイギリスの
首相にこういつていた。

「原子爆弾の投下目標都市は、広島、小倉、新潟、
そして長崎です。
一発の原爆にどれだけの威力があるかを知るため
に、そのときがくるまで、これらの四都市に空襲を
してはならぬと命じています。空襲の処女地で原爆
の威力を見たいのですよ」
「それは正しい選択です」と、イギリス首相はいつ
た。

昭和二十年八月六日、
夏休みのさなかの月曜の朝。
空は青く、海は白銀色、
比治山は緑に燃えています。

比治山では蟬がなっている。

比治山は高さ六十メートルの広くて大きな岡です。
広島駅から歩いて十五分の、
桜並木と松林の名所です。
広島の人々が大好きな公園です。

比治山では小鳥もなっている。

比治山の西のふもとの、
小さな家の小さな庭で、

小さな女の子が数をかぞえています。

1 「ひとつ、ふたつ、みつつ……もうえーか」

かくれんぼの相手は兄の英彦です。
英彦の両親は中学と女学校の先生です。
建物疎開の指導をするために、
さつき学校へ出かけて行ったところです。

2 「よつつ、いつつ……もうえーか」

「まあだだよ」
英彦は縁側から家にあがつて、
雨戸の戸袋のうしろに隠れました。

比治山をそよかぜが渡って行く。

比治山の南のふもとの、
下駄屋さんの店先で、
正夫がおばあさんの肩を叩いています。
3 「……九十九、百。もうえーか」
「まあだだよ」

比治山の北のふもとの、
澄んだ小川の流れの中で、
勝利がお母さんとおイモを洗っています。
「勝利、あんまりねしく洗いよると、しまいは、
実がのうなつてしまうがな」

4 「うん、もうえーよね」

そのとき、蟬や小鳥がふつとなきやみ、
風もびたりとやんだ。

そして、世界が停った。

……すると、見よ、あれは落下傘だ。
B 29 が落下傘を落として行った。

黒い土管のようなものをぶら下げた
その落下傘は、四十五秒もかけて
ゆっくりと降りてくると、
上空五百八十メートルのところで……

一瞬の大光量。

青空が裂けて、
天地が砕けた。

爆発から一秒あとの
火の玉の温度は一万二千度だった。
太陽の表面温度は六千度だから、
街の上に太陽が二つ並んだことになる。

その熱で、地上のものは、
人間も鳥も虫も建物も、
一瞬のうちに溶けてしまった。
火泡を吹いてとけてしまった。

火の玉からは爆風が吹き出した。
音の二倍の速さで、
畳一畳あたり十トンの圧力をかけて、
地上のものを一気に吹き飛ばした。

火の玉は殺人光線も出していた。
内臓や血管や骨髄などの
人間の体のやわらかなところに、
殺人光線がこっそり潜り込んでいた。

四倍にふくれあがつた土佐大が死んでいます。
そのそばに、爆発の衝撃で異常出産した若い母親
が坐りこんでいる。

燃える火をみて「あーきれい」と手を叩いている美し

い娘がいます。

彼女はもう、気が狂っている。

黒焦げの若いお母さんの下には、きまつたように赤
ちゃんがあります。

赤ん坊ももう、息をしていない。

ひしゃげた水筒をひきずった女学生が声をかぎりに
両親の名を呼んでいます。
彼女はもう、両足を砕かれて歩けない。

炸裂したのはリトルボーイ。
アメリカ俗語で「おちんちん」。
長さ四・三メートル、
直径一・二メートル、
重さ四・五メートルの原子爆弾だった。

まもなく夕暮れどきのように暗くなりました。
空から紙や木のかけらが降ってきました。
A 障子や戸板が燃えながら落ちてきました。
火のついたお人形さんが舞っています。

(中略)

七つの川は「あつい！」と叫んで
飛び込んだ人たちでいっぱいです。
息絶えた人たちは
人間の筏を組み、
引き潮に引かれて
広島湾へゆっくりと流れて行く。

倒れた家に腰から下をつぶされて動けなくなった父
親に、火の手が迫ってきます。
生爪を剥がしながら死にもぐるいに材木を取りの
けようとしている娘に、父親が声をかぎりに怒鳴りつ
けました。

「早よう逃げんかい。なして親のいうことが聞けんの
か。このB 親フコウもんが……！」

ついに娘は父親ととわの別れを告げた。
もう泣いてはいない。彼女の髪の毛も燃えていて、
涙はすでに出つくしている。

リトルボーイは、高性能火薬でいえば、
二万トン分の爆発力を貯えていた。
つまりB 29 一千機分の爆弾を抱えた、
リトルどころかとてもない怪物だった。

歯茎から魚の腸のようなものを出しながらぶすぶ
すと燃えている女の子がいます。
彼女は英彦の妹だった。

比治山の西のふもとの橋のたもとで、妻は、向こうか
らよるけながらやってくる夫を見つけていました。
「……あなた、腕の皮が剥けてだらんと垂れ下がっ
ちよつてですよ」すると夫が妻にいました。「おまえは、
お腹から腸が出ちよる」二人は力なく抱き合うと、わ
が子の名前を呼びながら、やがて息をするのを止めま
した。

二人は英彦の両親だった。

べろが真っ黒にふくれ出てちようど茄子でもくわえた
ような格好で梁の下敷きになっている下駄屋のおば
あさんがいます。

彼女は正夫のおばあさんだった。

(※梁 屋根を支える太い横木)

小川に飛び込んでわが子に覆いかぶさったまましく
なつたおかあさんがいます。
彼女は勝利の母だった。

このようにして……

数十秒のうちに広島市の半分が消え失せ、その日のうちに十二万人が亡くなって、二十万の人々が傷ついていました。

5このときから、漢字の広島は、カタカナのヒロシマになった。

* * *

英彦、正夫、勝利の三少年は、このあと、印刷機が焼けて発行できない新聞の代わりに、ニュースを口で伝えて歩く口伝隊の仕事をもらって一緒に暮らすことになった。

* * *

ラジオからの甲高いお声をさかいに、広島ががらりと変わりました。戦さは終わった。

空からはもうなにも、

おそろしいものは降ってきません。

ハエだけがわがもの顔で飛んでいる。

警戒警報や空襲警報のサイレンでもう肝を冷やすことはありません。

ハエだけがうるさい羽音を立てている。

焼け野原にバラック小屋が並び始めました。よそに避難していた約十五万の市民がぞくぞくと帰ってきた。

調査団もやってきました。

政府調査団に京都帝大医学部調査団、

岡山医大調査団に……そのほかいろんな調査団が乗り込んできた。

それから、段原一丁目の哲学じいたんところのおばあさんが亡くなりました。（※大学の哲学の先生突然死する人があとをたない。あの爆弾がのこしていった殺人光線のことかようやうく知られはじめている。

哲学じいたんの教え子たちがやってきて、家に突っつい棒を交ってくれました。

書齋と台所と風呂場が使えるようになった。（ア）

駅前にはビール立ち飲み所ができました。太い青竹を輪切りにしたものがジョッキです。お客たちは「あんなひどい目にあつたのに、こうやってビールが飲めるとは……」と、よろこんでいます。何人かは「亡くなった人たちにすまない」と涙ぐんで口の周りの泡を拭っていた。（イ）

やはり駅前に立ち飲み喫茶店ができました。一杯二十銭。中身はただの砂糖湯です。ビールも砂糖も、陸軍の将校たちがこつそり持ち出した本土決戦用の物資だ。（ウ）

このところ、三人の口伝隊が伝えたなかで、とてもよろこんでもらった報道があります。「広島県知事からの告示です」「広島市民の税金が待ってもらえます」「一年間、待ってもらえます」（エ）

輪転機を焼かれましたった中国新聞は、大阪や門司の出版社にたのんで紙面を印刷してもらっています。自前で印刷できるのは九月からだそうです。

三人は掘立小屋に住みついたらますます報道を口で伝えたり、新聞を配ったり、新聞社のなかを掃除したりしています。

手榴弾は小屋の隅にそつと埋めました。

ついこのあいだ、地元の報道でうれしくなったものがあります。

「広島市は市内の国民学校の授業を九月三日から始めることに決めました」

「焼けた学校はしばらく休みます」

「焼けた学校の授業再開の見込みはまだついていませんが、十月中、旬にはなんとかなりそうです」

三人が通っていた学校はそれぞれ焼けてなくなっています。

だからしばらくは、

このまま生きていけばいいのです。

けれどももちろんたいいはドキンとする報道ばかりです。

大阪や門司から届いた新聞を一部、

花江さんにもらつて読んでいるのですが……、

トルーマン米大統領のC「セイメイ」。

「われわれは歴史始まって以来最強の、二発の爆弾によって平和を創り出した」

……チャーチル英首相の議会演説。

「日本本土上陸作戦がもしあれば、百万の米国兵と二十万の英国兵の命が失われていた。原子爆弾はそのD「ゲキ」を防いだのである。わたしと米大統領はポツダム会談で、原子爆弾を使用することを、ソ連のスターリン議長にも伝えておいた」

……スターリンソ連議長の談話。

「日本はアジアを侵略しようとした。天に向かって吐いた唾が自分に戻ってきただけではないか」

「どいつもこいつも、なに吐かしやるんね」

「ほけさく！もう許されんぞ」

「あほくらい！もう生かしておかれん」

意味のよく分からない報道もあります。

例えばこんな記事です。

「一日、政府は、九月初旬に予定されている占領軍の本土進駐にあたり、彼ら占領軍兵士たちのための性的慰安施設の設置を決めた。それを受けて、昨日、広島県知事は、『これこそわが県の子女の純潔を守る防波堤である』として、呉、福山、尾道の各市長にその方面の業者を総動員して施設を作るよう命じた。施設は八月中にできあがる予定である」

わからないことがあれば、

花江さんに聞くことにしています。

夕方、雑炊を食べ終えた三人は、その記事の花江さんにさし出しました。

「おねやん、この記事の意味を教えてください」

「……えーと、その、つづまり、呉と福山と尾道にアメリカ兵がやってくるということよ。あげえな非道いもの落としおつたんけえ、アメリカ兵は広島にはよう来れん。広島にやアメリカ軍じゃのうてイギリス軍が進駐して来よういう噂もあるけえ、やつぱあ気咎めしちやるんじやろね。東から福山、尾道、南から呉、西から岩国、ほいて北から松江と、四方からうちのE「ケハイ」をうかがおういう作戦かもしれん」

「そがなこと、だれも聞いとりやせん。この『性的慰安施設』いうんはなんですか」

「あのなあ、うちにはよう答えられんけえ、だれか他のひとに聞いてちょうだい。……やあこれは。西の空が真つ黒じゃ。また雨になろうかのう。氣いつけておやすみ」

そこで三人は段原一丁目へ向かいました。哲学者なら意味を知っているはずだ。

「……お国や知事さんは、結局、こげえいうとられるじやろのう。こげえことになったからには、あがーてもあがーても、どもならん、みんなしてアメリカ軍をもてなそうてな。みんなしてアメリカ軍を慰めなきゃいけん、それもただ慰めるんじやのうて、お酒だの、馳走だのをすすめしながら、こう、やんわりとやわやわしゅうやさしゅうに慰めにやいけん……」

「……そが、わやくちやな！」

「知事さんはついこないだまで、たとい洞窟に立てこもろうとアメリカをやつけないけんいうとられたで」

「ほいから、校長先生も町内会長も、んにや、大人ん人は口を合わせたように、日本人が最後の一人までみな死に尽くすか、アメリカ人がインディアン以外みな死にくるか、そこまですることと戦わにやいけんいうとられたのに」

「わしらをこげえ目にあわせよつたやつらを、今度は慰めい、いうんですか。こがあさかへこな話があつとつてええんじやろか」

「一億みな戦士であれいうとつたじやなあか。それが今度は一億みなおせじ屋になれいうと。とんと突飛な話じゃ」

「じいたん、わしの妹はのうなつてしもつたです。おとやんもおかやんも、もうのうなつておもいます。なひてわしらだけがおせじ使つて生きてないけんのでしうか」

「わしの周りもみなもうなつとる。そいじゃけえ、わしはこげえして生きとるんが申しわけのうてならん。じいたん、いまさら、おべんちやらこきになれいわれても、わしはそがあなもんによくなれんよう」

しずかに屋根を叩いていた雨がいまは、天の底が抜けたような大雨になりました。

「6声の大きか方へ、ふとか号令の方へ、よう考えもせずになびいてしまふくせが、人間にはあつとつてじや。ふとか号令は、そのときは耳にうつくしゅう聞こえるけえね。このような現実をつくつてしもうたんは、そのくせのせいかわからん。ほいでその号令がらよろちよろかわりよるけえ、難儀なことよのう。やあこれはまたふとか雨じゃ。これじゃよう帰れんけえ、こんやはこへ泊まつていつたらええ。ええやんばいに風呂もわいとるけえ、石けんすりつけてよう洗うてきんさい」

（井上ひさし「少年口伝隊一九四五」）

問1 問題文中の□AとEの、漢字は読みを答え、カタカナは漢字に直しなさい。

問2 1と4全体は、この場面でのどのような効果をおげえていますか。

問3 5とは、どういうことですか。説明しなさい。

問4 次の一文は、問題文中の（ア）（エ）のいずれかに入ります。入る場所を記号で答えなさい。

どんなときにも甘い汁を吸うやつがいる。

問5 6という「哲学じいたん」のことばについて。

（1）これは、三人の少年のどんなうったえに対して言つたものですか。

（2）「哲学じいたん」は、三人の少年たちに、どんな思いで、どんなことを伝えようと思ったのでしょうか。二〇〇字以内で答えなさい。

問 2		問 1
(2)	(1)	1
		2
		3
		4

=

(2)								問 5	問 4	問 3	問 2	問 1
200								(1)				A
												B (親)
												C
												D
												E

には記入しないこと。